

令和元年度 エンパワメントプログラム

石川県立金沢錦丘高等学校 1・2年生対象

7月29日(月)1日目

進路指導課主催のエンパワメントプログラムがスタートしました。参加者は1、2年生の希望者34名で、今日から5日間、外国人ファシリテーター（全体司会）と6名の海外大学の大学院生らとの交流やディスカッションを行い、広く社会的な問題について考察し自分の意見を発表する活動を行っていきます。1日目は、オープニングセレモニーの後、アイスブレイカーアクティビティ、自己紹介、自分たちのグループ名の紹介（なぜそのように名づけたのかなど発表）、グループリーダーによるモデルプレゼンテーション（夢とその実現のために努力していること）と続き、英語コミュニケーションスキルと英語プレゼンテーションの方法について学んでいきます。



7月31日(月)3日目

午前中は自分のアイデンティティを考える時間でした。人の性格を表す様々な表現を学習し、今の自分を再確認します。そして、自分がどのように変わっていきたいのか、自分がどういった人間になりたいのかを、グループリーダーやグループメンバーの意見を聞きながら、オールイングリッシュで考えました。午後は本日のプロジェクト「東京オリンピックのボランティアについて」に取り組みました。ファシリテーターのジョンさんの上手な進行で、生徒たちからたくさんの意見がでていました。また、プレゼンテーションの場では、生徒たちの声やアクションが大きくなっており、皆の笑いまでとれるようになったグループが現れています。



8月1日(木)4日目

今日は午前中に「リーダーシップ」について意見交換を行いました。リーダーにとって何が必要か、そして自分がリーダーとして働くために必要な資質は何かなど、自分を変えるきっかけになる問いかけが続きました。はっきりした答えを言うことは難しいですが、生徒たちは相手を変えながら積極的に会話をしていました。（会話することにはずいぶん慣れた様子です。）
昼食時に茶道部の皆さんが、グループリーダーの留学生6人のためにお茶会を開いてくれました。彼女たちは色とりどりのゆかた姿で美しいお点前を披露し、留学生たちに日本文化の一端を見せることができました。（お茶の飲み方等は当然英語での説明でしたが・・・）
午後は「(世界の)貧困問題の解決」というテーマでのプレゼンテーションを行いました。活発な協議によってしっかりと準備したグループがほとんどで、原稿を読まないで何とか話しをしようとする生徒が増えてきています。



7月30日(火)2日目

エンパワメントプログラム2日目の様子です。午前中は「Positive Thinking」に関する質問について各グループでディスカッションした後、石川県の魅力的な場所、お勤めの料理、日本の誇れるところ、本校の好きなところや特徴などを共有しました。この間、参加生徒たちは、ひたすら英語を話し、英語を聞き続ける時間になっています。自分の知っていることをグループリーダーの留学生（金沢のことはあまり知らないようです）に説明することも兼ねているため、決して「わかりません」などと答えることができない活動でありました。

午後は、午前の活動を生かして各自の「おもてなし」についての考えを共有するとともに、「世界の人々に金沢の魅力を伝える」プレゼンテーションを考えました。各グループともに、ポスターをつくっていたり、寸劇を交えてあったりで、工夫されたプレゼンテーションが行われていました。リーダーからはプレゼンテーションの良かったところなどが紹介されていました。（みんな楽しそうです）



8月2日(金)最終日

本日の午前中は、午後からの「10年後に自分はどのようになりたいのか」というテーマの発表に備えて各自で練習です。自分が書いた原稿をグループリーダーにチェックしてもらい、原稿を見ないで発表ができるように練習、練習、また練習です。グループリーダーからは、「もっと声をだして!」とか「表情豊かに!」とかいろいろなアドバイスが飛んできます。もちろん英語で言われています。（ファイト!）

午後は、場所を視聴覚室に移して一人一人が「自分の未来」についてプレゼンテーションを行いました。個人差はあったものの、全員が原稿を見ずに、自分の夢などについて英語でのプレゼンテーションをやり遂げましたよ。（やったね!! スゴイぞ・・・）

最後はグループリーダーから修了証書を手渡され、全員で「ハイ、チーズ!!!」

